

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 植物の近交弱勢における遺伝機構の解明

2. 個人研究者名

竹島 亮馬（農業・食品産業技術総合研究機構作物研究部門 研究員）

3. 事後評価結果

本 ACT-X 研究では、ソバ植物の近交弱勢に着目したストレス耐性に強い植物を育種しようとする独自の研究を実施展開した。特に、ソバという難しい研究材料に対し、レファレンスゲノム情報を整備し、遺伝子機能解析系を構築して、近交弱勢の原因遺伝子座を特定（候補遺伝子の推定）できた。また、近交系で大規模な欠失が起こることを見出したことは大きい成果である。当初の計画をうまく達成し、非常に興味深い現象の一端を捉えている可能性が高いので、このまま、発展させていきたい。

今後は、エピジェネティックな要因の可能性と潜性遺伝子のホモ化などの考察を利用して、近親交配による生殖器官の弱勢化の阻害効果が予想できるため、これからの解析に期待する。